



東野幌小学校 保健便り
2024年2月1日
NO16
保護者向け

2月を迎えました

早いもので今年度も残すところ2ヶ月となりました。1月の感染症はコロナウイルス5名、インフルエンザ4名、アデノウイルス1名、溶連菌感染症1名でした。11月、12月のようなインフルエンザの大流行はありませんが、2月はどうでしょうか。先週から今週にかけては発熱は無いものの、少し下痢を伴う腹痛を訴えるお子さんがほぼ毎日いました。保健室で少し休んでも回復しないのが特徴でした。

元気なお子さんでも防寒があまり出来ていない場合もあります。これからは更に気温が低下します。帽子、手袋、スパッツなどしっかりとした防寒対策と、今後も変わらない感染予防をお願いします。

「心とからだ、命の学習」が始まります 2月5日～9日の期間

心とからだ、命の学習の3回目となりました。中心の課題は全校通じて「SOSを出す」です。心とからだ、命の学習は心理学的、社会学的な側面から計画しており、養護教諭も深く関わっています。

昨今、道内でも子どもの自殺のニュースも聞かれます。アニメなどでは「生まれ変わり」や「転生」のストーリーも多く見受けられます。低学年ではリアルとバーチャルの違いも取り入れ、中学年、高学年では「ピアサポート(仲間同士の支えあい)」も話題にしています。そして全校に「辛い時、苦しい時は信頼できる人に相談しよう」ということを伝えます。文部科学省(平成26年)の「子供に伝えたい自殺予防」において、児童生徒を対象とする自殺予防教育の目標として示されているのは、早期の問題認識(心の危機に気付く力)、援助希求的態度の促進(相談する力)の2点であることから、どの学年にもこの学びが入っています。この機会にご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

	「心とからだ、命の学習」③ 心理学的側面 タイトル と主な指導内容
1年生	「こまっていること」 自分が困っていることに気づき、誰かに伝えることが出来る。命に対してバーチャルな世界(アニメ、ゲームなどなど)と現実の世界の違いを知る。
2年生	「かなしくなったら」 悲しい気持ちや辛い気持ちなど自分の感情に気づき、助けを求めることが出来る。命に対してバーチャルな世界(アニメ、ゲームなど)と現実の世界の違いを知る。
3年生	「だれかに相談できますか？」 自分の辛い感情の変化に気づき、「この人に」と具体的な相手に相談出来る。友だちが困っていたら、それを信頼出来る相手に伝えることが出来る。
4年生	「悩みがあったらどうしよう？」 多感になってくる中で悩みや苦しさを自分自身だけのものにせず、助けを求めることが出来る。自分の命を大切にしようとする事が出来る。
5年生	「自分で SOS を出せますか？」 辛く困ったら誰かに SOS 出せるように、家族、学校だけではなく相談機関の存在を知る。友だちの困り感に気づいたら、自分だけで解決しようとせず、具体的な相手に相談することが出来る。
6年生	「SOS の出し方とは」 不安や悩み、命の危機に対してどのように助けを求めたらよいのかを理解し、自分の命を大切に。他者の悩みに対してもピアサポート(仲間の支援)の意味を知り、協力し合う。相談機関を知る。

